

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	理念は作り上げているので、日々の生活の中でその人らしく支えていけるよう支援している。裏庭に栗の木があり、秋の収穫は怪我のないように楽しんで拾っている。また、野菜づくりは大根、トマト、ピーマンなど、近所のAさん夫婦や地域の人からアドバイスしてもらいスタッフと共に「ゆっくり・たのしく・いっしょに」をモットーとして生活している。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	利用者の体調に合わせてながら、日々の生活の中で取り組んでいます。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	家族には入所時に丁寧に説明をしている。地域の人には運営推進会議やホームでの行事の呼びかけをして理解していただけるよう取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	気軽に挨拶を交わしホームの理解を深めていただいています。収穫した野菜を届けてくれたり、朝顔の鉢植え、菊づくりをしている方が見事な花を届け観賞用にと持ってきてくれました。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域行事は案内があれば参加しています。老人会の行事がないが秋には子供みこしがホームに来て利用者が喜んでいる。長和小学校からは運動会や学芸会の案内があり、参加しています。一緒に参加し玉入れやボールを使った競技を行いました。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域の高齢者の暮らしに役立つ取り組みは、病院の作業療法士、理学療法士を招いて講習会の開催。フラダンス、医療体操の呼びかけをして参加し地域の方に喜ばれました。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	□ (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	指摘された事柄は改善の方向で検討し実行しています。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年間の行事の説明、利用者の状況の報告、家族の意見、行政からの助言など参考にして取り組んでいます。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	必要とした時は報告、相談して助言を載っています。地域包括支援センターで開催されるケアマネ会議に参加して認知症だけでなく幅広い分野での勉強をしています。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	必要な人には支援しています。研修会で学んだり、事務所内には必要なパンフレットが置いてあり、支援できるようにしています。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	事務所内にパンフレットを掲示し、全体会議で高齢者虐待防止について年数回学んでいます。ホーム内での虐待はないが、言葉かけを常に気をつけて優しく接しています。		
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ホーム長が十分な説明と同意を得て入所となっています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	□ (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の意見や不満はスタッフやホーム長に話してきますので家族とも相談し、より良い方向に出来るように反映させています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>定期的にホーム内の暮らしぶりはコスモス便りに掲載して報告。健康状態は其の都度変化があれば報告。金銭管理は月ごとに領収書を貼付して口座残高を確認していただいています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や家族が来訪時、年数回開催する行事に参加されたときなど意見交換、要望などあれば聞いて反映しています。また、ホームのカウンター横に苦情受付の掲示を貼付してある。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の申し送りの時、月1回の全体会議・ユニット会議で意見、課題を見つけ話し合いスタッフの意見を反映して取り組んでいる。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>勤務調整は協力し必要な時間帯に確保しています。利用者の状況の変化には其の都度、柔軟性を保ちながら対応しています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員の移動や離職のダメージは特にありません。スタッフが言葉掛けや対応を一貫して優しく接しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>資格がないスタッフは、働きながら資格を得られるように勤務体制をバックアップして応援しています。また、研修もその人におおじて参加させています。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>グループホーム広域会に登録、ファックスにて研修参加の呼びかけがあり都合があれば参加し研鑽しています。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>スタッフの食事会(忘年会、新年会、その他慰安会)を開催したり、ストレスの軽減に努めています。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者(ホーム長)は看護師の資格があり、的確な判断をしアドバイス、指示をしています。各自に適した言葉掛けで向上心に呼びかけてくれています。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談から利用までは家族や本人の状況をつぶさに聞いて対応しています。不安な状況があれば数日間の行動を観察して本人の話を傾聴して取り組んでいます。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族とはさらに詳しく本人の状況を聞いて対応しています。信頼関係を保てるように努力をしています。</p>	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要な時は本人に良いサービスを見極める支援を他のサービス利用の支援も行う。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>利用者の生活歴を考慮しながら、無理強いすることがなく、見守り馴染めるように工夫しています。慣れるのに人によって1ヶ月～半年くらいかかる事もありますが、家族、本人と相談しながら進め工夫して支援しています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>利用者から学ぶ事柄、知識は沢山あります。物を大切にする習慣や礼儀作法、人を思いやる言葉も日常の中で得られます。日々の仕事に感謝しています。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の悩みも一緒に受け止めて支援しています。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>本人と家族の関係の理解の程度は個人差がありますが、良い関係が継続できるように支援しています。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。</p>	<p>利用者が不穏にならない、また、疲れないように配慮しながら支援しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	人間関係は相互に支えていく関係が必要で、リビングの自席は相性に配慮して決めています。また、時には変化もありますのでその場におおじて対応に勤めています。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所後も入所先(病院、施設)に訪問したり、家族から状況の報告を受けたり、連絡をこちらから途絶えることがないよう良い関係を築いています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いや暮らし方の希望は大切にしていますが、健康を阻害することに対しては(本人に納得していただく)検討をし出来ないこともあります。		
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人のこれまでの職業、家庭生活、趣味などを把握し否定せずよりよいサービスができるように支援に努めています。		
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	1日の過ごし方は体調の把握管理、心身状況の把握を常に管理しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人家族の希望やケアの内容はカンファレンスを持ち介護計画を作成しています。力仕事をしていた男性の利用者にはレクの椅子ダシ、片付けをお願いして役割を持つことで生きがいをみだしています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	□ (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>常に現状に即した的確な話し合いが出来、新たな計画をしています。朝の申し送りや日中の変化があれば相談報告して対応しています。</p>		
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の記録とケアの実践、結果、気づきなど特記に記載し見直しや新たな事柄を記載している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>ショートステイも行っています。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>民生委員は運営推進会議に参加。消防は年2回行われる防災訓練にきていただきました。教育機関は長和小学校との交流を図っています、ボランティアの方は誕生会に来て社交ダンスを披露してもらいました。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	<p>通院で移送サービスを利用や、ショートステイを支援している。必要な支援があれば行います。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>必要な利用者には地域包括支援センターと連絡を取り合い相談援助しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	□ (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医院と連携、相談し健康診断、定期受診、インフルエンザ予防接種、緊急時の相談と受診病院の相談、情報提供を受けています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症の専門医がいないので、日赤の精神神経内科のDrや伊達クリニックの医師と相談し治療を受けています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ホーム長が看護師であり、日常の健康管理ができています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	情報交換や家族と相談して連携しています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	家族、本人の意向は書面で取り交わしているので沿った対応を行い、状況の変化があれば其の都度家族と話し合い方針を共有しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	家族との十分な話し合い、Drに相談しチームとして支援を惜まず取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	介護添書、必要なケアプラン等、詳細に記入して情報交換をしています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	本人の誇りやプライバシーに配慮した言葉掛け、対応を常に気をつけて対応しています。トイレ誘導も寄り添うように声掛けし誘導しています。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	分かる力に合わせた説明や声掛けをして心地よく生活が出来るように支援しています。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日の生活のリズムはほぼ決まっていますが、其の日の体調や精神状態を見ながら一人ひとりのペースを見守り大切に支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	同じ洋服を何日も着てしまう利用者には違った洋服に着替えてもらい、又その人らしい身だしなみを支援しています。理容、美容はスタッフに美容師がいるので本人の好みに沿ったヘアカット、パーマをしていますが、美容院へ行きたい人は送迎をして対応しています。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	本人の能力にあわせ、野菜の皮むき、野菜きり、食器洗い、拭き、収納などしています。調理が好きな人には味付けや錦糸卵などもやいてもらっています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	□ (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>家で晩酌をしていた人は量の調節を図りながら焼酎を、緑茶が好きな人には緑茶を飲んでもらっています。糖尿病の人もいるので工夫して対応しています。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している。</p>	<p>其の都度、気持ちよい排泄パターンを掌握して対応しています。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>一人ひとりの希望により時間、湯の温度調節、入浴剤などで温泉気分を楽しめるように工夫して入浴支援しています。拒否があるときは次回に約束します。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>安眠できるように夕方には布団の足元にカイロを入れて温かくし、腰にもカイロを貼り入眠の促進を促しています。又眠れない時は温かい飲み物を飲んでいただき安心感を与えています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>買い物袋たたみ、タオル干し、ウエス切り、ホール掃除、食器拭き、収納、などスタッフや他利用者と会話を楽しみながら行っています。又天気の良い日は裏庭で昼食やドライブを楽しんでいます。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>家族と相談して本人の希望にそった支援をしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	暖かい日は散歩や外でレクリエーション、ドライブ、外食、海、公園にでかけています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	要望があれば外出支援は行っています。(兄弟で100歳の父親のお祝いに一泊とまりでかけました。)		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話や手紙の支援は其の都度おこなっています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	家族やなじみの人の訪問は随時来られています。居室で過ごしたりリビング、ホールなどで談話しています。希望があれば食事と一緒にいただいています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束はしていません。言葉遣いに注意をして(ダメ、とか否定語)は言わないことをスタッフが確認合っています。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間2階の階段には柵をして鍵をかけ転落防止をしています。(道の許可を得ています)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	□ (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	常時、居場所の確認をしています。ホール、居室に戻りひとりになりたい時はそっと見守り気分を損なわないように安全に注意しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	夜間動きがある人は危険がないように車椅子を廊下に出し安全を図っています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	転倒の危険がある人には見守り、誤薬がないよう名前の確認、行方不明にならないように外出時の付き添い。防火訓練を通して、火災予防・事故防止に取り組んでいます。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	連絡体制があるのでそのように取り組んでいます。応急手当のマニュアルが事務所に置いてあり、学ぶことができます。全体会議でも勉強して取り組んでいます。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	近隣の方、自治会長に協力をお願いしています。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	病気についての認識を家族に説明し、リスクについても其の都度お話しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	ロ (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	尿量、回数、色、排便の状況、バイタル、食事、水分摂取量など変化に気づき報告、指示、相談して対応しています。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬は個人ファイルに綴じてあります。目的、副作用、用法が記入されているので読んでいます。薬が変更になったりは状況の変化を観察して報告相談しています。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘をしないようにDr指示で与薬し、水分補給や朝バナナセーキを飲んでいきます。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の嗽、義歯洗浄、入眠時は口腔内の残渣物をガーゼで拭き取る。自歯の人は介助で歯磨きしてガーゼで拭き取っています。イロウの人や鼻腔栄養の人には特に口腔内の清潔を保っています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	病気の管理と水分量、食事量、体重のバランスを図りながら支援しています。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、嗽を小まめに行い、インフルエンザの予防接種も全員受けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食材は食品庫に保管して収納、し調理器具は塩素消毒を毎日行っています。包丁・まな板・布巾・食器など。季節ごとに野菜の貯蔵管理は適宜行い清潔に保管しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関周りは植木や花が置いてあり出入りがしやすい、駐車場も広く取ってあり安心できます。入ると靴を履く椅子が備え付けてあります。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間は日差し、空気、照明、音、匂い、温度などに配慮して居心地良く過ごせるようにしています。リビングからは畑や、山が見えるように工夫しています。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人になりたい時は広いホールで過ごしています。ソファも椅子もあり、裏庭が見えて開放感があります。		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	安全に注意して必要なものや本人が大切にしているものを置いて安心できる環境にしています。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	居室には温度計を設置して室温を調節しています。冬季は暖房で乾燥しないようにぬれタオルを置いています。リビングは空気清浄機を使用しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	□ (取組んで いきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>85 身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ホームには広いホールがあり、歩行運動、レクのフウセンバレーを毎日行っています。また月2回フラダンスを習い身体機能の維持向上を図っています。</p>		
<p>86 わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>本人の認識する度合いにより、入所時は混乱を避けるために大きな字でトイレや自室に名前を書いて混乱しないようにしています。自室のドアには異なった花を飾り分けやすくしています。</p>		
<p>87 建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>外回りは庭園や花があり、裏庭は芝生があり、夏は外で昼食をしたりレクリエーションや家族と焼肉を開催できました。駐車場も広く花火大会も開催しています。</p>		

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 健康管理がされている。楽しみながらフラダンスを月2回開催でき利用者も喜んでます。午前中の嚙下体操、手足運動、声を出す運動(歌を全員で歌う)、午後のレクレーションで風船バレーの開催。